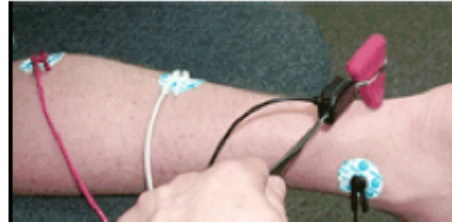


SS36L BSL 用 金槌型トランスデューサ



SS36L は反射計測、対象への衝撃の強さを記録するためのトランスデューサです。膝反射の測定だけでなく、二頭筋（肘）とアキレス腱でもヒト応答時間を測定するための一連のレッスンを実行するために使用します。

これはテイラーハンマー（医者や看護師に使用されている最も一般的な反射ハンマーです）を使用し、時間と相対的な衝撃の強度を記録するための電子機器を内蔵しています。学生が閾値のメジャメント値を取ることができる衝撃の強度を測定することを可能にしています。これは、反応を引き起こすのにどの位の大きさの衝撃が必要か測定することが可能です。

ピエゾコリマ同軸ケーブルは、ハンマーのラバーヘッドに内臓されています。伸収縮の際、ケーブルには電圧が生じ、その電圧は加速度に比例します。

反応信号を出力する衝撃を意味し、空気に対しハンマーを振り回しても信号は出力されません。

以下の Biopac Student Lab レッスンで使用されます。

- H16 反射神経&応答時間
- H28 反射応答
- L20 脊髄反射神経